

11月20日：VN指数は990ポイントへ上昇

先週20日は引き続き株式市場に資金が流入し、ホーチミン取引所のVN指数は前日から6.74ポイント(0.69%)上昇し、990ポイントで引けた。

255銘柄が上昇したのに対し、下落したのは169ポイントだった。出来高は5億株、売買代金は9.5兆ドンで、出来高は前日を上回ったものの売買代金は11%ほど下回った。

VN30銘柄では、金融サービスのTCH、不動産デベロッパーのKDHがストップ高まで買われ、それぞれ20,300ドン、26,450ドンで引けた。

他にはベトコムバンク(VCB)が2.55%高の92,500ドン、BIDV銀行(BID)が2%高の41,200ドン、ベトジェットエア(VJC)が4.6%高の118,900ドン、鉄鋼メーカーのホアファット(HPG)が1%高の35,700ドンなど、それぞれ上昇した。

反対に、ベッティンバンク(CTG)、石油・ガスのGAS、PLC、飲料のSAB、不動産コングロマリットのVIC、小売のVREなどは約0.5%下落した。

PDR、PET、HNG、VGC、JVC、TDPなどは投機的な資金が入り、値幅制限いっぱいまで上昇した。

不動産デベロッパーのFLCはホーチミン市場で出来高が最大となり、3,140万株が売買された。工業団地開発のITAが1,924万株で続いた。ITAは2.8%高の5,150ドン、FLCは2.6%安の4,190ドンで引けた。

ハノイ取引所では、HNX指数が0.24%上昇し、147.21ポイント(+0.36ポイント)で引けた。88銘柄が上昇したのに対し、71銘柄が下落した。出来高は6,190万株、売買代金は9,404億ドンだった。

大手銀行のACB、SHB、NVB、採石・加工のVCS、石油のPVS、建設のVCGなどが上昇した。

HNX30銘柄の中では、DDG、MBS、SHS、TNGなどが下落した。

ACB が活発に売買され、959 万株の出来高となった。不動産の HUT が続き 636 万株の出来高となった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。